



# さくらじま

令和5年9月25日 N016

【学校教育目標】  
みづか まなび, たかめあい  
よりよく生きようとす  
る子どもの育成



## 2学期が始まって

2学期が始まり約1か月が過ぎてきました。残暑も厳しく、体育が実施できなかつたり、運動場での遊びが制限されたりする日もたくさんありました。勉強も毎日の日常になってくると、日々のコツコツした頑張りも必要になってきます。1年生は漢字の学習が始まりました。高学年は行事に向けて学年集会をしたり、調べ学習をしたりして準備に入っています。どの学年も毎日毎時間の授業に、楽しく取り組めるよう子どもたちも職員も丁寧に毎日を重ねています。



## 3年生が給食室を題材に

3年生の国語の学習で単元「仕事のくふう、見つけたよ」で報告する文章を書くためにメモを取るという学習をしています。その取材場所を給食室にしました。各クラスから出た質問をもとにどのように調理員さんたちが給食を作っているのかを、栄養士の黒田先生から話を聞きました。たった5人で、700人分の給食を作っていく過程には、たくさんの驚きがありました。例えば、仕事のまず初めは服装を整えることと手洗いで、一番気を遣う重要な行程であることを知りました。服装の形にも異物が入らないよう工夫がたくさんありました。そして手洗いは2分かけて洗う工程を2回行っている様子を動画で見て、驚きの声が上がっていました。その他、エプロンを工程別に変えることや、野菜などの材料を水槽を変えて3回洗うこと、窯の中の温度を何度も測り記録することも、すべてが子どもたちにとっては初めて知ることばかりで、そのたびに驚きの声が上がっていました。そして、説明の中に何度も「安心して安全な給食を作るために」という説明がありました。いつも食べている給食が、調理員さんの大変な努力と心遣いで届けられていることを、改めて知る学習となりました。

